平成26年度 事業報告書

(平成26年1月1日から平成26年12月31日まで)

特定非営利活動法人メダカのがっこう

1 事業の成果

継続して個人・学校・企業に対する体験学習を通しての啓蒙活動、教材を使用しての教育啓蒙に努め、本年度より始めた「お米くらぶ」は少しづつではあるが参加者が増え、また、当方との「7つの約束」をまもり、新たに花まる農家となってくれた農家が梅農家を含めて4件増え、益々消費者と共に農家支援体制を強化していかねばなりません。そのためにも支援者である消費者への啓蒙活動の強化に自給自足教室や実践を通して地道に取り組み、賛同者の会員の増加が図れました。また、東日本大震災への復興支援のための田んぼでお米を作り、さらに、お米募金をも募り、お米の寄付を継続実施しました。

2 事業の実施に関する事項

Г				<u> </u>	I I	
事業名	事 業 内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者 の延べ人 数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
環境保全環境のおり、では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大	生物多様性の田んぼで稲作の体験学習、 田んぼ体験<農家支援部門事業>	延年20回の実 地研修	千葉、栃木、 福島、静岡	50名	会員及び企業・学 校・消費者 延620名	22927
	メダカのがっこうの事業実績に関する成 果報告交流会(メダカのがっこう交流 会)		清澄庭園	15名	会員及び賛同者 70名	
	米飯食、身土不二の食材を使った料理教室や生きる力をつけるための各種講座を 開催。<自給自足推進部門事業>	93回	お米ダイニン グ メダカの がっこう	140名	会員及び賛同者 延べ666名	
	体験の場を農家とした味噌・醤油造り、 梅干し作り、たくわん作りなど h 伝統的 食文化の啓蒙と学習のための自給自足く らぶセミナー<自給自足推進部門事業>	20回	現地	80名	会員及び賛同者 延べ305名	
	トキ野生化とタイアップした、佐渡の農家支援。(トキプロジェクト) <農家支援部門事業>		現地	5名	会員及び賛同者 延べ30名	
	他、自然エネルギーの里作りと自然塾。 (もてぎプロジェクト) < 調杏研究部門事	活動随時	現地	25名	会員及び賛同者 延べ90名	
	メダカのがっこう会員農家等の田んぼの 生きもの調査,田んぼの生きのも博士講 座実施,消費者への公表。<調査研究部 門事業>		香取、茂木、 他8か所現地	30名	会員及び賛同者 延べ70名	
	大地の再生講座(無農薬の田畑の周辺環境の問題点を探り、改善方法を学び実行 していく。)<調査研究部門事業>	4回	山梨	12名	会員及び賛同者 延べ52名	
	援農草取りプロジェクト<農家支援部門 事業>無農薬のお米を食べる人は1年に1 回以上は田んぼの草取りに出かけようと いう啓蒙活動の意味もこめて農家支援	20回	千葉、栃木、 静岡	40名	会員及び賛同者 延べ180名	
	田の草フォーラム(2年に1度開催の他 の草研究<調査研究部門>	1月6・7日	伊豆	10名	会員及び賛同農家 全国の消費者 65名	
	食で身体を立て直そうというテーマの講演会:米を食べるこの大切さの啓蒙活動 <自給自足推進部門事業>	3回	東京	30名	会員及び賛同者 延べ250名	
の目的を達成す	お米くらぶを作り消費者に1年分のお米 の予約注文をしてもらったり、スポット 的にお米を購入して農家の生産を支える 手助けの仲介<フェアートレード部門>	通年	全国	お米担当 5人	会員及び賛同者 380人	
	機関誌・HPによる広報(活動広報事 業)HPを刷新しました。	機関誌は3回 HPは日々更新	郵送・WEB	15名	機関誌は会員及び 賛同者に1000	2000
	東日本大震災の復興のためのお米の配給 支援	1日	岩手	2名	被災関係者	100